

国東保健部

(第1面)

00002



産業廃棄物処理計画書

令和5年6月26日

大分県知事
広瀬 勝貞 殿

提出者

住 所 福岡市中央区那の津5丁目3番1号
氏 名 代表取締役社長 稗田 直輝
電話番号 092-738-2002

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	JA北九州ファーム株式会社 安岐農場
事業場の所在地	大分県国東市安岐町吉松3457-92
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	01 農業
②事業の規模	豚 1,1500頭
③従業員数	14人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	家畜ふん尿：自己堆肥化、発酵床へのリサイクル活用 家畜の死体：処理業者へ委託処理

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

統括責任者

社長

廃棄物処理方法決定

管理者

本社・管理部長

廃棄物処理に関する責任

 運搬・処理業者との契約
 マニフェストの保管・管理
 行政への報告

推進者

農場長

廃棄物排出実務責任者

マニフェストの交付・管理

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（令和4年度）実績】

産業廃棄物の種類

家畜ふん尿

家畜の死体

排 出 量

26652.88 t

54.59 t

(これまでに実施した取組)

家畜ふん尿 : 自己堆肥化。

家畜の死体 : 処理業者への委託。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類

家畜ふん尿

家畜の死体

排 出 量

26,000 t

78 t

(今後実施する予定の取組)

家畜ふん尿 : 自己堆肥化を継続する。

家畜の死体 : 処理業者への委託を継続する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜のふん尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	26652.88 t	
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜のふん尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	26,000 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜のふん尿	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	17283.57 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	〃	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1700 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	家畜の死体	
	全 処 理 委 託 量	54.59 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	54.59 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	処理業者への委託処理		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	家畜の死体	
	全 処 理 委 託 量	78 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	78 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	動物性飼料原料として有効活用するため、従来通り処理業者へ委託する。		
※事務処理欄			